

『証券経済学会年報』執筆要項《報告論文用》

1. 表紙：論文タイトルを日本語で記す。
2. タイトル：著者名、所属および論文タイトル（副題がある場合は副題も）を日本語で記す。
3. 長さ：報告論文の長さは、200字詰原稿用紙に換算して100枚を目安とする。
4. 言語：投稿論文は、現代国語文（「・・・である」調）で書かれていることを原則とする。なお、英語でも可とし、その文量は7000words程度とする。その際、英文のネイティブチェックは投稿者の責任で行なうものとする。
5. 本文の形式
 - (1) タイトル等：本文は2枚目からとし、2枚目のはじめに、「タイトル（副題がある場合は副題も）」、「著者名」「所属先」を掲載する。頁番号は、この2枚目を第1頁とする（表紙は頁数に入れない）。
 - (2) 分類方法：大項目〔1. 2. 3.・・・〕、中項目〔(1) (2) (3)・・・〕、小項目〔(a) (b) (c)・・・〕の順で用い、それぞれなるべく表題をつける。なお、表題はMSゴシック10ポイントで記述すること。
 - (3) 図表：
 - ・タイトルは簡潔に図表の上に明記する。
 - ・番号は図1、図2、表1、表2、・・・とし、初出よりの通し番号とする。（項目ごとに番号を付さない）
 - ・出所は必ず付記し、資料提供者（会社名）が判明しているものはそれを記し、次の例に従い図表の下に明記する。（外国語の書名はイタリック指定）

<例>

—単行本の場合—

（出所）相沢幸悦『現代ドイツの金融システム』，東洋経済，1993年6月10日。

（出所）Goff, T.G., Theory and Practice of Investment, Heinemann, 1997, p. 50.

—雑誌あるいは単行本中の一論文を示す場合—

（出所）佐賀卓雄「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第2号，1996年7月，44頁。

（出所）Galai, D., “Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options

Exchange,” The Journal of Business, 1997, Apr, pp.90-92.

—参考文献を記載している場合—

(出所) 佐賀 [1996], 44 頁。

(4) 数式の番号：数式の番号は通しでつける。

(5) 注：

・本文中に肩つきに 1)、2)、3)、の形で示し、大項目末尾にまとめる。

<例>……………発行額面は 1,000 ドルである¹⁾。

・書籍雑誌名の記載方法は、図表の出所例に準ずる。

(6) 参考文献：参考文献は、末尾に一括して記載する。順序は、日本語、外国語の順とし、著者名で、日本語のものは「アイウエオ」順、外国語のものは「ABC」順に並べる。なお、同じ著者で、同じ発行年の参考文献がある場合は、発行年に、a, b, ……を付けて区別すること。

記載方法は、

単行本の場合：著者、[発行年]、題名、出版社名の順とし、題名には日本語の場合は『』を付け、外国語の場合はイタリックにする。

<例>

相沢幸悦 [1993] , 『現代ドイツの金融システム』, 東洋経済。

Goff, T. G. [1997] , Theory and Practice of Investment, Heinemann.

雑誌の場合：著者、[発行年]、論文題名、巻、号、頁の順にし、日本語の場合、論文題名に「」、雑誌名に『』を付ける。また、外国語の場合、論文題名に“ ”を付け、雑誌名は、イタリックにする。

<例>

佐賀卓雄 [1996], 「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第 2 号, 7 月, 44 頁。

Galai, D. [1977], “Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options Exchange,” The Journal of Business, pp.90-92.

インターネットからダウンロードした場合：

・論文の場合：著者、[発行年]、「タイトル」、論文のシリーズ名および号数(例えばディスカッション・ペーパー・シリーズ、No. 1)、論文を掲載している組織(例えば××大学)。(URL)の順にする。

<例>

Healy, P. M. and K. Palepu [2002] , ” Governance and Intermediation Problems in Capital Markets: Evidence from the Fall of Enron,” Harvard NOM Working Paper No. 02-27, Harvard Business School.

(http://papers.ssrn.com/sol3/delivery.cfm/SSRN_ID325440_code020903590.pdf?abstractid=325440)

- ホームページの場合：組織名、「タイトル」(URL)。

<例>

東京証券取引所,「決済制度」(<http://www.tse.or.jp/cash/clearing/index.html>)。

- (7) 謝辞：謝辞で先生方の氏名を記す場合は、〇〇〇〇氏とし(大学などの属はつけない)、表紙に記すこと。

6. 投稿時に提出するもの：論文ファイル(学会ホームページ(機関紙ページ)よりダウンロードしたファイルを使用のこ)を編集委員長に提出する。なお、ファイルは事務局でPDF化されるが、その際に生じた文字化けや図表のズレなどは予め了解を得たものとして扱う。

7. 原稿料：原稿料は支払われない。ただし、投稿料は不要である。